

まちのくすりやさん

第87号

今回のおはなし

「成人女性に多い橋本病」

「who 電子たばこ」

「薬と健康の週間」



成人女性に多い橋本病

「以前より元気が出ない」「だるい」など。甲状腺の働きが低下する『橋本病』には、病名を特定しにくい、さまざまな症状が現れます。成人女性に多く、10人～30人に1人がかかっているといわれていますが、その割りに知られていません。

『橋本病』とは、慢性甲状腺炎。1912年、この病気について初めて論文を発表した九州大の外科医。橋本 策（はかる）博士にちなんで名づけられました。代表的な自己免疫疾患で、患者は欧米などでも多く見られています。

珍しい病気ではありませんが、気づきにくく、更年期症状やうつ病と間違われたり、認知症と誤診されたりすることもあるそうです。

甲状腺は、喉仏の下にある臓器。海藻類などに含まれるヨウ素を材料にして、人間の元気の源である甲状腺ホルモンを作り、血液中に分泌します。この甲状腺に慢性的な炎症が起きるのが『橋本病』です。ストレスや出産など何らかの原因で自己免疫システムが崩れ、甲状腺を異物として攻撃する抗体ができます。攻撃され、炎症を起こした甲状腺は硬く腫れます。深刻化すると働きが低下して、甲状腺ホルモンの分泌量が減少。新陳代謝が低下し、全身の活力がなくなったり、臓器の働きが弱まったりします。便秘や体重増加、生理不順、寒がりなどの症状のほか、無気力で疲れやすくなることもあります。

橋本病の症状

間違えられやすいもの

皮膚がかさかさになる、無気力になる	更年期障害
気持ちが落ち込む	うつ病
記憶力が低下する	認知症
体温が低い、寒がりになる	冷え症、低血圧
月経不順（一時的に量が増える）	更年期障害
手足がしびれる	抹消神経炎
むくむ	腎臓病
抜け毛が多くなる	老化
声がかすれる	声帯炎
ろれつがまわらない、動作がゆっくり	脳血管障害

※通常の健康診断の項目には甲状腺機能の検査は含まれていません。

WHOより、電子タバコ情報

世界保健機関（WHO）は26日、世界で使用者が増えている電子たばこについて、各国政府に広告規制の導入や屋内での使用禁止を提案する報告書を発表した。10月にモスクワで開く「たばこ規制枠組み条約」の締約国会議の議題に挙げ、未成年や妊婦の使用を防ぐ考えだ。電子たばこは火を使わず、ニコチンや香料入りの液体を加熱した蒸気を吸う仕組み。香りや味を風味に加味させた製品にニコチンを含む液体を使用した製品もある。WHOは、電子たばこでもニコチンの害が残ることや、使用により目や呼吸器に痛みが生じることもあると指摘。使用者がはき出す噴霧にニコチンなどの有害物質が含まれるとした。規制案では電子たばこの製造会社などが、当局の許認可を得るまでは「禁煙に役立つ」との効果をうたうことを禁じるべきだとした。屋内使用についても、周囲に悪影響がないことが証明されるまで法的に不使用を求めるよう呼びかけた。



日本全国 薬と健康の週間

10月17日（金）～23日（木）

千葉県では、10月26日（日）薬と健康の週間県民の集いが千葉県蘇我勤労市民プラザで、午後1時半～4時まで開催されます。

詳細につきましては、浦安市薬剤師会へお問い合わせ下さい。

（一社）浦安市薬剤師会

〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812（月～金：10～15時）

Fax 047-355-6810

メールアドレス toiawase@urayaku.jp

ホームページ <http://www.urayaku.jp/>